

### 基本方針3 協働による健康づくり体制の整備

基本施策 ⑦ 関係機関・団体等との協働による健康づくり活動の推進

⑧ 健康づくりに関するボランティア団体等の育成、支援

取組指標		策定時の値 (H21)	直近値 (H26)	目標値	評価
1	「新・健康ながの21」推進市民の会の構成団体等による健康づくり活動の実施回数	954回	1,046回	1,450回	○
2	住民自治協議会との協働による健康講座等の実施回数	596回 <sup>6)</sup>	969回	増加	◎
3	自殺予防ゲートキーパー研修参加延べ人数	422人	6,984人	3,000人 ↓ 4,149人 より増	◎

<sup>6)</sup> H22 実施回数

- ・ 「新・健康ながの21」推進市民の会の構成団体等による健康づくり活動の実施回数は、増加しました。
- ・ 住民自治協議会との協働による健康講座等の実施回数は、大幅に増加しました。
- ・ 自殺予防ゲートキーパー研修参加延べ人数は、策定時の値を大幅に増加し、目標を達成しました。

#### ◇ 今後の課題

- ・ 長野市全体として健康づくりを一層推進していくためには、「新・健康ながの21」推進市民の会や住民自治協議会、また、地域において自主的に健康づくりに取組むNPO法人やボランティア団体との協働による取組の充実を図る必要があります。
- ・ 地域の健康づくりを進めていく上で、ボランティア団体の会員の減少や高齢化、地域による温度差等が課題となっています。地域の健康課題に沿った情報提供や支援のあり方について、検討を進める必要があります。
- ・ 自殺率は、減少してきており、これを継続させていくために、関係機関・団体との連携による相談支援体制の充実及び自殺予防ゲートキーパーの更なる養成を図っていく必要があります。